［井原市立木之子中］学校（３）年　**Ｒ５ふるさと教育・起業家教育の視点を取り入れた単元報告シート**　作成者名【青木　健】

●●●●＝必ず記入　　○○○○＝計画に応じて該当するところを記入

めざす子ども像	・他者を思いやり、協調し、貢献しようとする生徒　　・自ら学び、自ら考え、実践できる生徒
学年・学期における探究課題	地域課題にかかわる
単元名	地域課題にかかわる（全10時間＝実施時期：４月～７月）
単元のねらい	修学旅行を通して、改めて自分たちの「ふるさと」を見つめる

		課題設定	情報収集	整理・分析	まとめ・表現
主な活動		沖縄への修学旅行を通して、地域の課題を意識しながら井原との違いや共通点を調べる。	事前にインターネットを使って調べたことを現地に行って深めていく。	「自然」「伝統」「文化」「歴史」などそれぞれの分野ごとに調べていく。	調べた内容をスライドにまとめ、来年度修学旅行に行く２年生へ発表を行う。
仕掛け・工夫	**もの**		タブレットや図書館での資料などの準備		
	ひと		司書の先生に相談し、資料の選定	リハーサルでは、お互いにアドバイスを行い、スライドの改善を行った。	
	しごと（こと）				
	その他				
引き出した姿	**いばら愛**（郷土愛と当事者性）				
	やり抜く力（向上心と忍耐力）				ただスライドのまとめるのではなく、聞く人がわかりやすいようにスライドへのまとめを工夫する
	まき込む力（発信力と協働性）	個人で調べたあと、グループで協力しながらまとめる。			学年を超えて、後輩へ発信する
アウトプットの工夫		１，２年生で調べた「井原」についてもう一度確認する。			

◆　**実際に関連付けた教科・領域、学校行事等**

◆　**実際に連携・接続・交流した他学年、他校（園）種、外部団体等**

２年生への発表会を実施

〈R5〉木之子中学校・３年　単元名『地域課題にかかわる』の流れ（探究過程）と活動の実際　　担当【青木　健】

◆単元のねらい「修学旅行を通して、改めて自分たちの「ふるさと」を見つめる」

沖縄伝統の食べ物

海ぶどう

沖縄名物として有名な海ぶどうは**熱帯の浅い地域に生息する海藻の一種である。**食物繊維が豊富に含まれておりミネラルも豊富で美容や健康にもいいとされている。

琉装

沖縄県 動植物

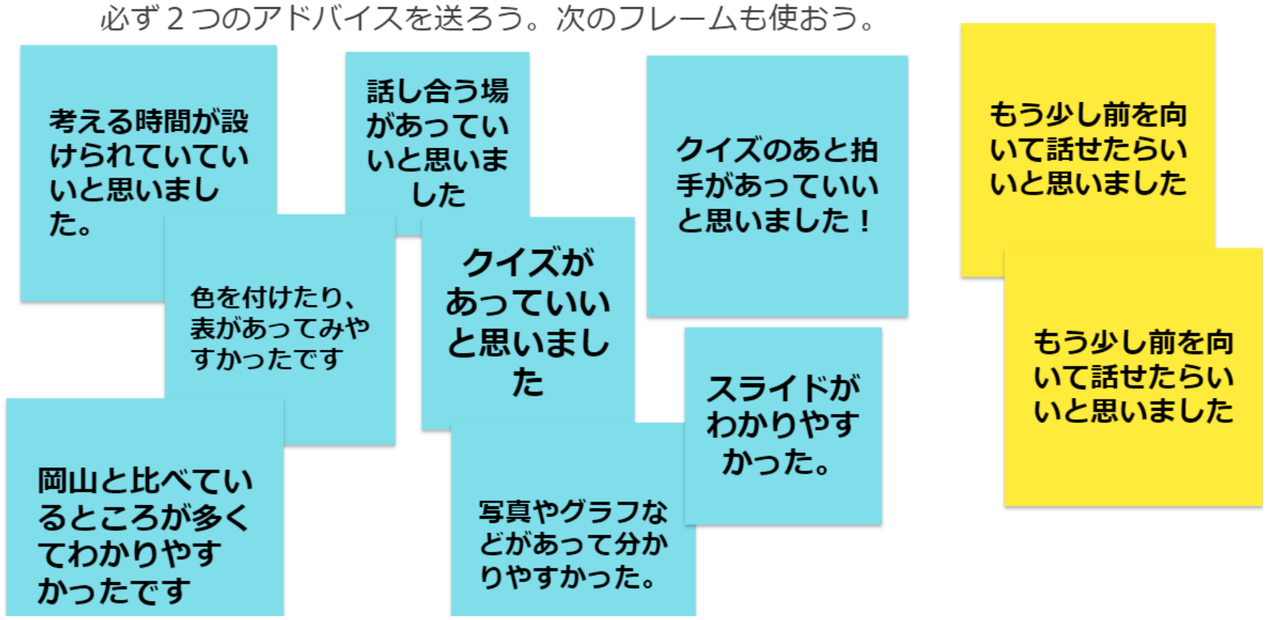
ヤンバルクイナ

山原地域だけに生息している飛べない鳥

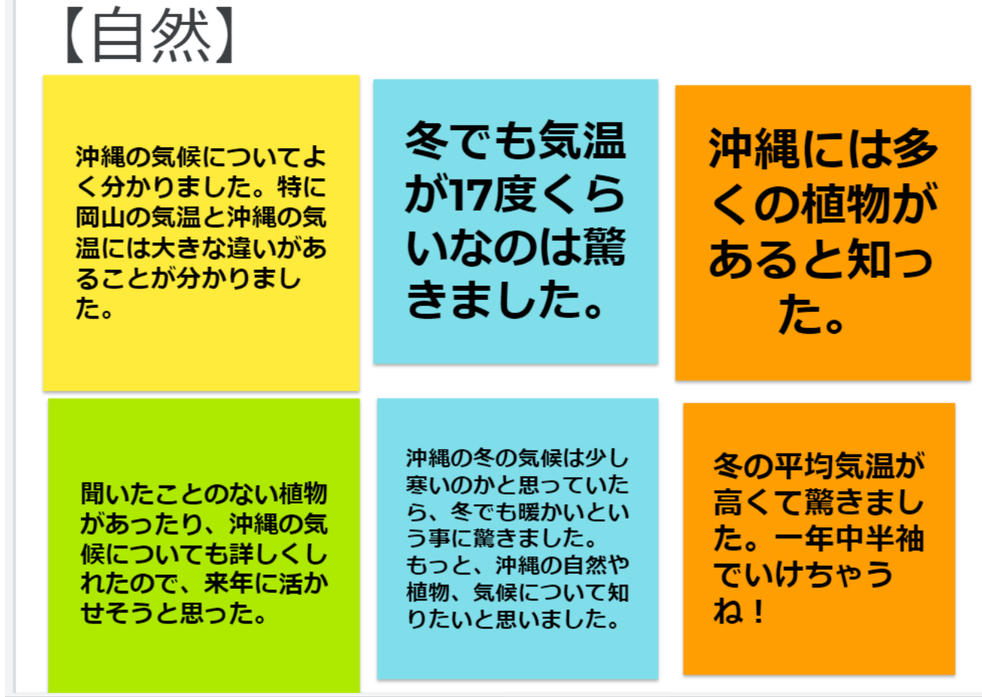
絶滅種　ジュゴン

イリオモテヤマネコ

【ナビ】発表を聞いて青色付箋で『参考になったところ』と自分の名前。
黄色付箋で『より良くなるアドバイス』と自分の名前を書こう。
必ず２つのアドバイスを送ろう。次のフレームも使おう。



【自然】



◆成果（○）・課題（△）・来年度に向けて（☆）

○他の地域を知ることで自分たちの地域への想いが再確認できた。自分たちへではなく、後輩へ発表することで最高学年としての自覚も芽生えた。
△修学旅行では他の学習（平和など）もあるため、地域への課題への意識づけをしっかりと伝える必要があると感じた。
☆２年次の事前学習の段階から地域課題と修学旅行で学べることを考えながら計画する。